



いしまご便り

屋号

いしまご

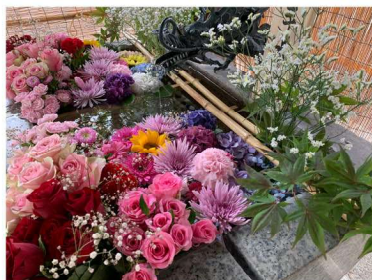
いしまご

明治34年 初代 孫一から

おかげさまで 創業120年



《花手水》の様子



狛犬台座改築施工風景



改築工事が完了した
狛犬台座

明治15年（1882年）に創祀された札幌諏訪神社は本年、令和3年（2021年）に鎮座139年の時を迎えています。

小林石材 今昔物語 ～北海道内に残した小林石材の足跡～

平成30年（2018年）に「北海道」と命名されてから150年目の節目を迎えました。北海道の歴史と共に歩んだ小林石材の足跡を今昔を交えてご紹介いたします。

今回ご紹介するのは《札幌諏訪神社》です。明治39年（1906年）に奉納された狛犬が鎮座しております。北海道では珍しい明治時代の狛犬を残すため奉納されてから115年間の風化により傷んだ軟石台座部分を御影石にて改築し、令和御大典記念事業として狛犬台座改築ならびに社号標移設工事の施工を行いました。また、御鎮座七拾周年記念に建立され、雪害により倒壊し社殿の下で保管されていた灯籠の復元工事の施工も行いました。

御祭神は建御名方之命（たけみなかたのみこと）八坂刀賣之命（やさかとめのみこと）です。夫婦神であることから縁結び、子宝祈願や安産祈願にご利益があるとされております。

◆札幌諏訪神社

札幌市東区北12条東1丁目1番10号

TEL : 011-711-0960



お墓の相談室



Q：父が亡くなりました。お墓に名義変更は必要ですか？

A：墓所の使用者（名義人）が亡くなった場合は使用者変更が必要です。

お墓（墓石）の名義変更では無く、墓所（敷地）の使用者変更が必要になります。札幌市営霊園の場合の説明をいたします。使用者が亡くなった場合は【相続】の手続きが必要です。窓口または市のホームページから墓地申請書と誓約書の2通を記入し現使用者（今回はお父様）の名義の墓地使用許可証と戸(除)籍謄本を用意し、新使用者の戸籍謄本、本籍記載の住民票と印鑑（認印可）と手数料600円で行うことが出来ます。また、生前に使用者変更の場合は【譲渡】の手続きとなり【相続】の場合とほぼ同様の必要書類と現使用者の印鑑証明、実印を用意し申請を行うと使用者の変更が可能になります。ただし、祖父から孫への使用者変更などの場合で戸籍が繋がらない場合には旧使用者と新使用者との間に戸籍を繋げる書類が必要となる場合があります。詳しくは札幌市保健所 電話番号011-616-2855へお問い合わせください。札幌市営霊園以外の方は霊園を管理する事務所に問い合わせを行うと必要書類、費用などを詳しく教えていただけます。

近年、札幌市および近郊でもお墓の無縁化が問題となっております。今まで同様にお墓参りをし、お墓の管理をしても使用者が亡くなって使用者変更を行っていないと郵送物が届かないなどの理由により無縁墓の疑いがありとなってしまいます。札幌市によると市営の3か所の霊園(平岸、里塚、平和)と17か所の墓地の合計20か所で

令和2年12月末時点で47,134基中、約2割の9,719基のお墓が無縁化の疑いがあるとの事です。令和3年4月より戸籍調査を本格的に行うようですので今後調査が進むと無縁墓の疑いのあるお墓の基数は減っていくと思われませんが、使用者の変更だけではなく住所が変更になった場合には【住所変更】も忘れずに行ってください。



石屋職人のなるほど講座

石屋の職人が石のこと、石屋の仕事のことをご紹介します。

第6回目は北海道の霊園でよく見かける『稲田石（いなだ）』の話です。茨城県笠間市稲田地区で採掘され、約6000万年前に地下深くでマグマが固まってできたと言われ、雲母・長石・石英の三種の鉱物が強固に結晶し中粒の黒雲母が入る白色系の《花崗岩》です。国会議事堂、最高裁判所、東京駅、明治神宮、笠間稲荷神社などの日本を代表する数々の建築物に稲田石が使用されています。長尺の原石も採掘されており安定した石種です。北海道のお墓でも国産の御影石と言えば稲田石と言われるほど多くのお墓が建立されています。

【稲田石（いなだ）】



写真の為に色合いなどが実際と多少異なります。

■見掛け比重 2.64 t/m³ ■吸水率 0.26 % ■圧縮強度 1500 kgf/cm²

東日本大震災 ～忘れてはいけない記憶～

10年前の平成23年(2011年)3月11日午後2時46分に東北地方太平洋沖にて発生しました。地震の規模はマグニチュード9.0で発生時点において日本周辺における観測史上最大の地震でした。最新のデータによると全国で死者は15,900名、行方不明が2,525名、震災関連死が3,775名の多くの方々が犠牲になりました。私も若い頃に岩手県・宮城県で石屋の修業をしていたことがあり、当時お世話になった気仙沼の石材店も家族、社員は全員無事でしたが、店舗などが津波により流されて被災しゼロからの再スタートとなりました。震災が起きた平成23年12月に被災地を訪れてから平成29年12月までの7年間、続けて被災地を視察して来ましたが、平成30年9月6日の北海道胆振東部地震にて札幌市内の墓地・霊園の被害が大きく、修復作業のため多忙となり、3年間訪問することが出来ませんでした。2日間のブラックアウトを経験し僅かばかりですが東北の被災者の気持ちを経験した今だからこそ東日本大震災から10年目を迎える今年1月初旬にコロナ感染者の少ない東北地方へ細心の注意を払いながら岩手県、宮城県を訪れました。



【震災当時 2011年12月24日 気仙沼港周辺】



【震災当時 2011年12月23日 石巻港周辺】

奇跡の一本松が残る陸前高田市では【道の駅高田松原】と併設して【国営追悼・祈念施設】及び【東日本大震災津波伝承館】が開設していました。【東日本大震災津波伝承館】では震災当時を映像で伝えるシアターや常設展示として実際に被災した消防車などが展示されていました。屋外には献花場が設置され追悼の場となっていました。

震災当時「第18共徳丸」が津波で海から約800メートル内陸に打ち上げられた気仙沼市では【気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館】が開設。震災当日まで気仙沼向洋高校の校舎として利用されていた建物に震災伝承館を加えた施設となっており、「目に見える証」として震災の記憶と教訓を伝えていました。気仙沼向洋高校の校舎内は震災当時の津波の被害が残されており、校舎の3階、地上約8メートルではベランダを破壊しながら流されてきた車が残され、さらに4階には金属製のレターケースの下部がさび付いて残されておりました。津波による浸水が地上約12メートルまで達したことを示しています。校舎外壁の4階部分は津波により壁面が大きく破損していました。地震発生から約25分～30分で津波が到達したと言われています。10年の時を迎えた今年の3月11日は多くの犠牲者への追悼と決して忘れてはならない災害への教訓とし、防災に備える大切な1日となり、私の心に深く刻むこととなりました。



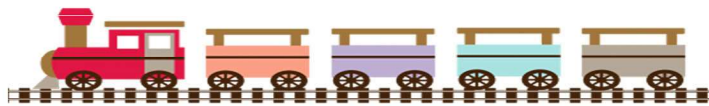
【気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館】
気仙沼向洋高校の3階に流されてきた車



【陸前高田市 東日本大震災津波伝承館】
被災した実際の消防車が展示されている



【陸前高田市 奇跡の一本松】
7万本のうち唯一生き残った復興のシンボル



御朱印の旅

御朱印とは？

神社やお寺を参拝した際に参拝した証しにいただく印章のことです。もともとは参拝者が写経をお寺に収めた際にその証として押印されたものが起源と言われています。

今回ご紹介する御朱印は山口県下関市中之町に鎮座する

平安時代・貞観元年（859年）、宇佐八幡宮から^{かんじょう}勧請され、「関の氏神さま」「亀山さま」と親しまれている亀山八幡宮（かめやまはちまんぐう）です。

亀山八幡宮の御祭神のお名前は

- ・ 応神天皇（おうじんてんのう）
《15代天皇》仲哀天皇の第4子
母は神功皇后
- ・ 神功皇后（じんぐうこうごう）
《仲哀天皇の皇后》
- ・ 仲哀天皇（ちゅうあいてんのう）
《14代天皇》
- ・ 仁徳天皇（にんとくてんのう）
《16代天皇》応神天皇の第4子

日本一大きいと言われる御影石の大鳥居



亀山八幡宮の正面石階段前には御影石製の大鳥居が建立されています。昭和8年（1933年）建立。日本最大の御影石製鳥居です。その総重量は50t、高さは12.7m、幅は15.15m、柱の直径は1.2m。

当時の金額で7,000円との事。現在の技術、設備を用いてもなかなか作ることが出来ないほどの大きな石の大鳥居です。今から約90年前の石工職人達の技術と苦勞の結晶です。



亀山八幡宮 御朱印

編集後記

令和3年もコロナウィルスと共に歩む1年になりました。そのダメージは多岐にわたりますが、中でも私は若い世代の人生の宝の瞬間を奪われる今を悲しく思います。100年と言われる人生に大きく影響する若い頃の出会い、学び、経験をひとつでも多く得ることが出来ない事は若い世代にとってまさに人生の宝の瞬間を奪われてしまうようなものです。“情報共有”“危機管理”“未来予測”そんな言葉を聞いても絵空事のように思えてしまいます。現実には21世紀になっても“疫病蔓延”。それでも前を向き歩むしかありません。10年前の東日本大震災後に仙台空港の男子トイレで見つけた人生の格言となる素晴らしい言葉を思い出しました。『一歩前へ！さらにもう半歩前へ！』今を乗り切るには一歩では足りないかもしれません。だから、さらにもう半歩が必要です。
(小林 誠)

厚生労働大臣認定 1級石材施工 加工 技能士 厚生労働大臣認定 1級石材施工 石張り 技能士
 厚生労働大臣認定 1級石材施工 石積み 技能士

創業明治34年 120年の伝統と技術



株式
会社

小林石材 0120-068-148 いしや

本社：〒004-0812 札幌市清田区美しが丘2条10丁目2-2 TEL：011-881-0172
 長沼工場：〒069-1317 夕張郡長沼町東1線北14 TEL：0123-89-2919

安心施工・自社工場完備